

宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想〈素案〉に関する意見及び市の見解

項目	細目	意見の概要	意見に関する市の見解	
まちづくり構想全般について		観光地の宇治として、すばらしい計画であると思います。	ご意見ありがとうございます。	1
		将来宇治市の発展に繋がるような整備をお願いします。	ご意見ありがとうございます。	2
		むかしからの宇治の歴史を大々的に宣伝し、活用してもらいたいと思います。	ご意見ありがとうございます。	3
		宇治茶と歴史・文化がなければ、宇治市は大阪市と京都市のはざまの衛星都市としてしか機能しない住宅街になってしまうので、本構想に全面的に賛成します。	ご意見ありがとうございます。	4
		今回の素案が従来からのまちづくり構想に太閤堤と茶を加えたものなのか、新規にまちづくり構想を策定したものなのかわかりません。	この素案は、これまで進めてきた都市計画マスタープランや景観計画などの上位・関連計画を基本とし、宇治川太閤堤跡の発見や文化的景観の選定といった新たな要素を踏まえて、対象地区におけるまちづくりの方向性を示したものです。	5
		時間とお金のかかる仕事ですので、拠点の整備は、いつまでに何を完成させるか目標を設定すべきです。	目標年次や事業費については、今回策定するまちづくり構想を基に、具体的な事業計画を作成する中で検討する予定です。	6
		宇治市の観光スポットの拡大、あるいは周辺環境の整備という面で、宇治川の右岸地区の自然を残す形で観光開発をされるというプランに反対するものではありません。ただ、「太閤堤」「菟道稚郎子墓」を観光にきたお客様に史実であるかのように主要なスポットとするのであれば、産地偽造であるので反対です。	宇治川太閤堤跡や宇治の歴史・文化を正しく伝えることは重要です。このため、本構想の基本方針にも、「宇治に暮らす人々が宇治の歴史や文化・景観に誇りと関心を持ち、これらをまちづくりに活かす」としています。	7
まちづくり構想策定の背景と目的に関するもの	太閤堤について	宇治川太閤堤の「発見」とありますが、すでに宇治川左岸堤防のほとんどは太閤堤とわかっているのではないのでしょうか。	太閤堤は伏見築城にともない豊臣秀吉が命じて造られた堤防全体を指すこととはご指摘のとおりです。このため、今回発見された箇所は「宇治川太閤堤跡」として区別しています。本編では、太閤堤の概要説明を追加しました。	8
		この遺跡は、水制工ではなく、舟付き場の施設ではないか、と思っています。石張りの石も、天ヶ瀬方面の石ではない、というご意見もあります。教育委員会の見解だけでなく、広く意見を聞いてもらいたいと思います。	宇治川太閤堤跡については、宇治川太閤堤跡検討委員会を設けて広くご意見を聞きながら調査を進めております。また、宇治川太閤堤跡の詳細な役割などについては、さらなる調査が必要と考えております。	9
	目的	歴史的遺跡、歴史的建造物を適切に保存・継承することは賛成ですが、宇治茶は秀吉だけのものではないと思うので、「秀吉とお茶」というテーマの設定は本当に適切なものなのかどうか疑問です。	宇治川太閤堤跡の発見が契機となり、秀吉が好んだ茶の湯と、対称地区のまちづくりと密接な関係にある宇治茶をテーマとすることが適切であると判断しました。	10
対象地区の設定に関するもの		対象地区の設定は、広くもなく狭くもなく適切だと思います。	ご意見ありがとうございます。	11
		市役所、文化センター、太陽が丘、植物公園まで伸ばしてはどうかと考えます。	本構想における対象地区の設定に際しては、景観計画重点区域を基本に宇治川太閤堤跡周辺を加えた歩いて回れる範囲を想定しております。	12
対象地区の現状と課題に関するもの	まちづくりの課題	課題2の「既存のまちなみ景観や周辺の自然景観、茶畑景観の保全・活用」については、「宇治を訪れる人」だけでなく「居住者」にとっても重要なことと思います。この地域を宇治川周辺だけに小さく留まらず、広範囲に広げてもらいたいと思います。	現在、宇治市では景観計画重点区域の拡大や、文化的景観の選定区域の拡大に取り組んでおります。	13
		歴史的にみれば、すぐれた自然景観を有する宇治川があり、それゆえに古の貴族の別業がおかれ、寺院などが建立され、また水陸交通上の要衝として、宇治のまちが歴史的に形作られてきたので、宇治川をまちづくり構想の中心にきちんと位置付けなくては宇治のまちづくりを語れないと思います。	ご意見の内容は、課題の2「既存のまちなみ景観や周辺の自然景観、茶畑景観の保全・活用」に含まれていると考えております。本編では、宇治の歴史的特性として、宇治川について記載しました。	14

まちづくりの基本目標と基本方針に関するもの	基本目標	「宇治を訪れる人が、何度も来たくするような魅力あふれるまち」は、重要文化的景観に選定されている近江八幡市が成功していることから重要と思います。	ご意見ありがとうございます。	15
		まちづくり素案に示されている基本目標「お茶のまち・宇治」や基本方針3点について賛同します。	ご意見ありがとうございます。	16
		あくまでも文化の香り豊かなまちを目指して下さい。賑やかにできれば良いではありません。	ご意見ありがとうございます。	17
		宇治茶に特化した印象が強いことに違和感があります。	対象地区のまちづくりを考える際には、観光客へのアピールを含めて宇治茶の位置づけはたいへん重要であると考えております。	18
		宇治全体のイメージを表す言葉であるなら相応しくないと思います。	宇治市全体ではなく、対象地区に関する基本目標と基本方針として決めました。	19
	基本方針	素案の方針賛成します。	ご意見ありがとうございます。	20
		基本方針のうち、2と3の順位は検討していただきたい。	基本方針には便宜上番号を付けておりますが、方針の順位を意味するものではありません。これら3つの方針すべてが重要であると考えております。	21
		基本方針に項を追加して、「シンボル景観(世界遺産周辺一体)の保全と継承」とし、「宇治川や世界遺産である平等院、宇治上神社及びその周辺一帯を、宇治市のシンボル景観として位置づけ、このシンボル景観を背景も含めて保全し、後世に引き継いでゆくことを、市民・事業者・行政の務めとします。」と明記すべきです。	ご意見ありがとうございます。ご指摘の内容は基本方針1「宇治の歴史・文化や景観を大切に守り育てるまちづくり」に含まれていると考えております。	22
		宇治に観光に来られるお客様を案内するには、目玉ブランドとなる拠点施設があるのはよいと思います。	ご意見ありがとうございます。	23
		古くから宇治はお茶の町として全国的ブランドを持って知られていますから、お茶のことなら何でもわかるお茶の記念文化館がミュージアムがあれば観光客誘致に寄与するのではないかと思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	24
戦略に関するもの	戦略1	樹木を育て、宇治のシンボル宇治川との一体感を持たせ、緑滴の環境にして自然を満喫できるようにしてほしいです。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	25
		新たな拠点に通じるアクセス道路の整備も観光客誘致には必要な条件と考えます。	新たな拠点へのアクセスも検討していきます。	26
		宇治茶の文化を活かしたまちづくりを進めるためには、市民が実際に茶を楽しみ、茶の味の良し悪しをわかり、新しく茶文化を作り出せるような文化水準の高いまちを目指すべきです。	本構想におきましても、基本目標として「歴史と文化の風格が漂う・・・」としており、戦略2においても、「お茶に関する様々な文化・伝統をさらに発展させ」としています。	27
		お茶のまちとしてのブランド確立の柱としてお茶壺道中(お茶の幕府への献納)を本物志向で再現して起爆剤としては如何でしょうか。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	28
	戦略2	お茶の文化を後世にとありますが、地元の人たちが気軽に茶を楽しめる場所を作ったり、子供たちに茶道やお茶に触れさせる機会を少しでも多くする事が大切だと思います。	事業メニューのその他の取り組みに、「市民による宇治茶を活かしたまちづくりの推進」を追加しました。	29
		茶摘を体験できる試みがあると裾野が広がると思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	30
		茶業専用の研究所、府立の茶業研究所がまもなく統合されてなくなります。そうしたブランドを守って活用してはどうでしょうか。	茶行研究所の名称、機能とも残ることになりました。今後は本構想に基づき、関係機関との連携を図っていきます。	31

戦略に関するもの	戦略3	空きビル、空き商店、空き地の利用方法を検討してください。(例:中央信用金庫ビル、ユニチカ遊休土地、他、シャッター店)	空き店舗や空き地の増加は、まちの景観や賑わいにとって好ましくありません。ご意見のとおり、これらの有効活用に向けて、今後は地域のみなさんと一緒に考えていく必要があります。	32
		宇治橋通商店街にはシャッターを降ろした店が多く、又、車がスピードをあげているので複数で歩くときに苦労します。車を通さないのは無理と思いますが、スピードを上げない工夫が必要だと思います。そして魅力ある店舗が開店することを願います。	現在宇治橋通商店街では電線地中化に向けての工事が始まっておりますが、この事業と合わせて車両のスピード抑制や歩行者の安全性向上に向けた整備が検討されております。	33
		宇治では、何を基準として都市景観を考えるのか、景観にどんな特性を持たせるのかを検討する必要がありますと考えます。	宇治市景観計画に考え方を記載しています。	34
		現在の文化施設を十分に活用し、地域全体で計画的に保全に取り組む方法がないのでしょうか。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	35
		地域の自然環境や景観を守るためには、条例を制定するなどして、規制すべきではないでしょうか。	宇治市では景観計画を定め、景観形成に努めています。	36
	戦略4	JR西日本、京阪電車で来られた観光客が動きやすいような対策を検討してはどうでしょうか。	公共交通による来訪と徒歩による周遊観光を促進するため、周遊ルートの整備や案内の充実を図ることとしています。	37
		アクセス等については宇治市の現状を考えればパーク&ライド等の採用が必要です。	ご指摘のご意見を含めて、駐車場のあり方について、検討することとしております。	38
		レンタサイクルについては、自転車道路が整備(皆無に近い)されない現状で自転車ばかりが増えても、結果はますます危険となり、戦略5の安心して暮らせるまちづくりとどうしても同調しないと思います。	ご指摘のとおり、レンタサイクルの導入と、周辺道路の整備は同時に検討が必要です。また、歩行者の安全な動線の確保も重要な取り組みであることから、今回の素案にも、一定の周辺道路整備を盛り込んでおります。	39
		今までの宇治の観光は、平等院とかミュージアムを往復する形が多かったと思いますが、もっと広く人の流れを考える場合は、宇治駅、三室戸駅、黄檗駅を有効に利用した観光周遊ルートを設定するほうがよいと思います。	観光周遊ルートは、本構想を踏まえて今後関係者のみなさんと検討を進めていく予定です。	40
	戦略5	「歩いて暮らせる、歩いて回れるまち」づくりは賛成です。	ご意見ありがとうございます。	41
	戦略6	街づくり構想の中に低料金の宿泊施設や研修道場を充実させ、修学旅行生や、宇治茶や歴史、源氏物語などに関心のある方は数日間宿泊して、宇治市内をゆっくり観光し満喫してもらえれば、と思います。	ご意見ありがとうございます。本構想にも、宿泊施設の充実を掲げております。	42
	戦略7	子供の教育の中に「宇治ならではの何かを入れることが大切と考えます。	今後、情報発信の手法について検討を進めます。	43
	戦略に追加すべき事項について	まちづくりの推進に向けた戦略に項を追加して、「世界遺産である平等院、宇治上神社及びその間を流れる源氏物語宇治十帖に描かれている宇治川(宇治橋より上流)およびその周辺については宇治市のシンボル景観として位置づけ、重点区域としてその保全に努めます。」と明記すべきでしょう。	ご指摘の事項は、戦略3に含まれており、新たに追加する必要はないと考えます。	44
	事業メニューに関するもの	新たな拠点整備について	新しく整備される拠点に観光ガイド詰め所を設置し、ガイド1~2名を常駐(4月~11月)させ、来訪客の求めに応じて観光ガイドが行えるようにしてください。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。
観光客と地域の住民が一緒になってなごめる多目的広場、宇治川堤防からゆるやかに芝生を張りつめ、桜の花見と、足湯につかってゆっくりできるいこいの広場、又トイレと「宇治茶」を主体とした喫茶室を、他施設の良好な例を参考にして造って頂ければ良いと思います。			具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	46
太閤秀吉は、茶の湯が大好きでしたが、桜も好きではなかったでしょうか？交流ゾーンでは、宇治ふるさと祭りや太閤花まつり行列などで交流を深めればよいと思います。			具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	47

事業メニューに関するもの	新たな拠点整備について	「宇治川太閤堤跡」は、私の観たところ、単なる堤防でなく、港であったものと思われます。「秀吉と御茶」の場でもあったかも知れません。その可能性に配慮した整備を期待します。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	48
		茶畑の保全が考えられているようで、賛成です。	ご意見ありがとうございます。	49
		「観光交流施設」はもう少し小さくてもよいように思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	50
		今回の計画地内に、農産物直売所等の拠点を設置してはどうでしょうか。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	51
	市道宇治五ヶ庄線の整備について	京阪三室戸駅から宇治橋への道は、狭く歩行者や自転車の通行が大変危険でもあることから、一方通行にしてはどうでしょうか。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	52
		宇治川堤防の道と同時に、京阪三室戸駅前の道を観光客も地元の人でも歩きやすいよう整備し、活気のある道すじにしてほしいと思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	53
	駐車場の整備について	高速道路の整備に伴い遠方からの観光バスによるガイド申し込みや駐車場の照会が年々増加していますが、市内にはバス駐車場が2ヶ所しかなく、拠点周辺に駐車場の設置が必要です。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	54
		今現在は、平等院南側の駐車場に観光バスが駐車され、平等院の裏門から観光客は出入りして平等院のみを通過観光されていると思われます。今回の計画所に観光バス等の観光客用の駐車場を設けて割安な駐車料金とすれば、宇治川一帯が観光ゾーンとなり宇治全体が観光地として活気にあふれると思われます。	新たな拠点での駐車場整備については、JRのガード下空間が不足するなど、観光バスの進入が困難です。このため、来訪者の利便性に配慮した駐車場のあり方を今後検討していく予定です。	55
		大型バスの駐車スペースを作るべきでないか。(他一件)		57
		宇治市の町造りのため、道路及び駐車場整備検討してください。		58
	駐車場、多目的広場、自転車道の整備	テニスをしたり、子どもがキャッチボールをしたり、グラウンドゴルフをしたりする場所としての多目的広場、自転車で走れる堤防上の道路、駐車場整備が必要だと思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	59
	その他の取り組みについて	地産地消の推進、宇治市内買い物優先券を、商店街の売り上げ増進のため提案します。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	60
		宇治は重要文化的景観に選ばれ、素敵な宇治を更に全国の人に見に来てほしいと思います。その為に、観光地の商店の方々ももっと協力してほしいものです。	事業メニューに、「その他、市民と行政が協働した取り組み」として、様々な提案をしています。	61
鵜飼い、桜祭りその他のより良い保全についても、組合や会議所の意見をよく聴いて検討されるよう、御願います。		具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	62	
宿泊施設の充実	宇治の朝はとてもステキだと感じています。特に宇治川周辺は、格別なものがあります。観光客には宿泊しやすい安くてしかも小さくても良いので日本的な宿(ホテルではなく)が良いのではないかと思います。	事業メニューにおいて、宿泊施設の充実を揚げております。	63	

事業メニューに関するもの	事業メニューに追加すべき事項について	宇治川と塔の島地区の歴史的景観とすぐれた自然環境である河川環境の修復・保全・継承を図ります。を事業メニューに追加すべきです。	塔の島地区に係る整備につきましては、国におきまして優れた景観が形成されていることに鑑み、学識経験者の助言を得て、景観、自然環境の保全や親水性の確保などの観点を重視した整備を実施することが、計画されております。	64
		奈良時代の「日本書紀 巻六」(720年)をはじめ、江戸中期の「都名所手引案内」(1763年)、幕末期の『花洛羽津根』、明治初期の絵地図などにも記載されており、1300年以上の歴史がある史蹟名勝であり、京都府レッドデータブックに記載されている希少価値を有する「亀石」の保全と周辺の河川環境の修復・保全・継承を図ります。を事業メニューに追加すべきです。		65
		日本の稀少な野生水生生物ナカセコカワニナ(絶滅危惧種)の保護をはじめとする宇治川の動植物の保護およびそれらが生息できる自然環境の修復・保全・継承を図ります。を事業メニューに追加すべきです。		66
		宇治市環境基本条例をはじめ景観法の宇治市景観計画、文化財保護法の重要文化的景観の選定にもとづく宇治市の責務を果たすために、天ヶ瀬ダム再開発事業と1500トン/秒放流計画および塔の島地区1500トン/秒河道掘削計画など宇治川河川整備計画の再検討と見直しを国に求めます。を事業メニューに追加すべきです。		67
		景観や環境が市民の資産であり文化財であることを市民・事業者・行政の共通認識として広めるための取り組みを図ります。を事業メニューに追加すべきです。		基本方針ですすでにうたわれており、新たに事業メニューに追加すべき項目ではないと考えます。
今後の事業実施に関するもの	事業整備は時間と費用がかかるので、優先順位を考えて行わなければならないと思います。メリットの少ないものは取り止めてください。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます	69	
	まちづくり推進に向けた戦略とその他「市民と行政が協同した取り組み」のアクションプランを明確にし、毎年度各担当セクションにアクションプランを出させ、市民に進捗状況の説明会を毎年開けば、毎年大きな変化が生じ、良くなると思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます	70	
	計画案は評価できるが、現在の財政・社会情勢を考えると実現可能性が生まれるか心配です。	出来る限り実現していきたいと考えております。	71	
	昨年折角500万人観光客の誘致に成功したことを一過性に終わらせず、500万人を維持するまちづくりをお願いします。そのためまちづくりの課題10項目を挙げられた中、本年中に実現できるまたは着手する各項目について期限、実施内容を明確にしてほしいです。	今回策定する構想に基づき、事業計画を立案するなかで、期限や実施内容を明確にして行きたいと考えております。	72	
	せっかく構想・計画に盛り込んだ内容が、数年経っても実現しないものが多いので、そういうものにならないようなくみにしてもらいたいです。	ご意見ありがとうございます。	73	
	小さな地域の利益ではなく、町全体で楽しめるように、バードウォッチング、花、散歩、サイクリングとあらゆるバリエーションで一日が楽しめるようにすれば、人が集まると思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	74	
	宇治橋通商店街は美しくないです。まず清掃活動を徹底したほうがよいと思います。	ご意見ありがとうございます。みなさんのご協力をお願いします。	75	
	イベントで集客はしても、ほとんどまちにお金落ちないような気がします。特に花火とお祭りは、商店街に居るものにとって、ごみの処理に困ってばかりです。	ご意見ありがとうございます。イベントによる集客に頼るのではなく、基本目標の2にもあるように、来訪者が何度も来なくなるまちを目指します。	76	
	JR、京阪からのアクセスとしてはたいへん良好な条件を持つことから、鉄道事業者と協力したもの(たとえば、かなりお得なチケット等)を期間限定でも行うべきだと思います。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	77	

その他	市の取り組み姿勢について	基本方針では、「市民や関係者行政が協働して」と明記されていますが、とりわけ行政が果たす役割は重要です。「平等院の背後にのっぽビル」などと批判され、景観破壊を許してしまったような過ちを犯さないためにこれまでの総括を行い、法が不備なら条例などで補完する行政の姿勢が重要かと考えます。これまでの市の姿勢では不十分と考えます。	今回のまちづくり構想を基に、これまで以上に宇治のまちづくりに取り組む予定です。	78
		役所や大学先生や諸団体の人の意見も大事ですが、市民や観光客など人々の目線に沿った考えが必要ではないでしょうか。いかに宇治市が発展し人気を継続するか、市民の多くが常に参加しようと思う様な事をして欲しいです。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	79
	空き家の活用について	私が「また訪れたいと思う街」は、ただ景色がきれいなだけでなく、そこに生き抜いてきた人たちの歴史を知ることも魅力のひとつです。この点でお茶は宇治の人々の生計を支えてきた主要な一つです。先人の生きてきた歴史を知る資料館などを中宇治の街中に作ることも重要ではないかと思えます。それも巨費を投じた会館では無く空き家を利用してつくればいいのではと思えます。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	80
		京の都とともに栄え発展してきた宇治の歴史、伝統工芸を紹介する資料館を、空き家を利用して造ればよいと思えます。全国の人々から尊敬され続けている山本宣治代議士とその歴史を知る資料館を造り、町家資料館を世界遺産や太閤堤とつなぐことでより魅力ある街中に人があふれる活気あるまちづくりができるのではと考えます。	具体的な計画作成において参考とさせていただきます。	81
	宇治川について	宇治川の生態系がすでにメチャメチャであることはご存じかと思えます。釣り人が釣っていたり、鵜が食べたりしている魚がブラックバスなど外来魚だということでは話になりません。この問題は貴検討会の検討課題外でしょうか。	ご意見ありがとうございます。まちづくり構想として取り上げるテーマからは少し外れますが、関係部局にはご意見の趣旨を伝えていきます。	82
		宇治川を中心とする景観は宇治の心臓部とも指摘されています。この景観が淀川河川整備計画の中で破壊され、更なる計画の強行で景観破壊の進行が予想されます。計画では塔の島を1m切り下げる。河床をさらに切り下げる。亀石が陸地化してしまう。などがいわれていますが、国土交通省は事業計画の推進で、塔の島地区の景観が最終どうなるのか不明のまま去る3月31日に計画を決定しています。国の計画の進め方は、同様の狭窄部である京都嵐山に比べてあまりにも宇治は軽視された扱ひとなっています。宇治川および周辺の景観、環境を護るためには、流域治水対策から見ても、過大で無駄な公共事業である天ヶ瀬ダム再開発事業の中止・見直しが必要です。市民説明会すら開催されていない現状の中で、市が責任を持って国にまず説明会を開催させることが重要と考えます。	宇治川に係る説明会につきましては、国が主体となって開催されており、今後も必要に応じて開催されます。	83
		先人は生きるためにさまざまな智恵を働かせています。お茶だけではなく「宇治川の恵み」も生かしています。私の村では鮎を天皇に献上した記録もあります。鮎を生かしたまま京の都に運ぶために柔らかい柳棒で担いで運んだといひます。宇治の歴史を私たち自身が知り、知ってもらうことも魅力あるまちづくりとして重要と思えます。この「宇治川の恵みである鮎やうなぎ」が、天ヶ瀬ダム建設後急激に減っています。そして安心して食べられるのかという問題もあります。外見だけの美しさだけでなく内面からの美しさを追求することで魅力あるまちづくりにつながるものと考えます。外面でも最近では宇治川の清流とは程遠い大量の泡が発生するなど異変も起こっています。宇治川周辺のまちづくりにとって「天ヶ瀬ダム再開発事業の検証」は不可欠です。	塔の島地区に係る整備につきましては、国におきまして優れた景観が形成されていることに鑑み、学識経験者の助言を得て、景観、自然環境の保全や親水性の確保などの観点を重視した整備を実施することが、計画されております。	84